

令和7年4月

会員各位

一般社団法人日本生殖医学会  
理事長 杉野 法広  
倫理担当理事 廣田 泰  
(公印略)

公益社団法人日本産科婦人科学会制定「不妊症および不育症を対象とした着床前胚染色体異数性検査(PGT-A)に関する細則」へ改定の申し入れを行いました

本会倫理委員会では、昨年10月にPGT-Aに関するアンケート調査を実施いたしました。会員の多くの先生方から貴重なご意見等賜りありがとうございました。その調査内容および本年秋に発刊予定の生殖医療ガイドライン改訂版で予定される内容をもとに、倫理委員会で慎重に検討を重ね、令和6年度第5回通信通常理事会での審議ならびに令和6年度第3回通常理事会での報告を経て本会理事会内でも十分な理解を踏まえました。そののち、公益社団法人日本産科婦人科学会(以下、日産婦)制定の「不妊症および不育症を対象とした着床前胚染色体異数性検査(PGT-A)に関する細則」について改定の申し入れを行うということとなり、先日、日産婦の加藤聖子理事長ならびに、臨床倫理監理委員会 鈴木 直委員長を直接訪問し、申し入れをいたしました。

日産婦側と率直に意見を交換する機会を持ち、相互に理解を深められたと感じており、大変有意義な面談となりました。今後、可及的速やかに本会と日産婦との合同検討チームを発足させ、改定の是非、改定する場合の具体的内容も含めて両学会で検討を進めていくということで合意いたしました。詳細の申し入れ文書を会員の先生方に共有いたしますとともに、今後も進捗は先生方にも共有させていただきます。引き続き本会へのご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025.4.4 日産婦事務局内にて

(左から、泉倫理担当幹事、廣田倫理担当理事、杉野理事長、日産婦加藤理事長、臨床倫理監理委員会 鈴木委員長)



一般社団法人日本生殖医学会  
Japan Society for Reproductive Medicine

令和7年4月4日

公益社団法人 日本産科婦人科学会  
理事長 加藤 聖子 先生  
臨床倫理監理委員会  
委員長 鈴木 直 先生

一般社団法人 日本生殖医学会  
理事長 杉野 法広  
倫理委員会委員長 廣田 泰



「不妊症および不育症を対象とした着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A) に関する細則」の  
改訂について

拝啓 平素より、本会への事業にご協力をお願いありがとうございます。

現在、本邦における着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A) の実施については、貴会から公表されている「不妊症および不育症を対象とした 着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A) に関する細則」の中の「反復する体外受精胚移植の不成功の既往を有する不妊症の夫婦」「反復する流産の既往を有する不育症の夫婦」を適応として運用されております。

さて本会では、本年秋に生殖医療ガイドラインの改訂版を発刊予定です。この改訂版では、近年のエビデンスに基づいて内容の改訂をおこなっております。その中で、「PGT-A は妊娠率や出生率改善に有効か？」の Question に対して、初回の ART から PGT-A を行った臨床研究等についてのシステムティックレビューを実施した結果、「ART 実施症例全例に対して PGT-A を併用することは、特に患者が高年齢で獲得胚が多い場合、PGT-A を併用しない場合に比べて胚移植当たりの出生率を改善する」という Answer を追加しております。

また、本会倫理委員会では、会員を対象に PGT-A についてのアンケート調査を行いました。その結果、有効回答 553 (回答率 10.4%) のうち、60% が「患者背景を加味して適応を検討すべき」と回答しており、「患者背景を適応に加味するべきではない」と回答した 18.3% を大きく上回りました。また、「患者背景を加味するべき」と回答した会員のうち、76% が「一定の年齢以上の不妊女性が対象となるように適応を拡大すべき」と回答していました。さらに、「患者からの PGT-A の要望に対して患者の自主性を尊重するため、PGT-A の適応拡大を希望する」という多くの会員からの意見が寄せられました。

本会倫理委員会では、PGT-A の有効性を示すエビデンスが蓄積しつつある現状において、

Japan Society for Reproductive Medicine

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-17 アイオス永田町 503 号  
TEL:03-6205-7445 FAX:03-6205-7247 E-mail:info@jsrm.or.jp

Aios Nagatacho 503, 2-17-17 Nagatacho Chiyoda-ku, TOKYO 100-0014 JAPAN  
Phone +81-3-6205-7445 FAX +81-3-6205-7247 E-mail: info@jsrm.or.jp



一般社団法人日本生殖医学会  
Japan Society for Reproductive Medicine

PGT-A について十分な理解をした夫婦が検査を希望しても現行の貴会の細則に従って PGT-A を行うことができない事例が生じていることについては改善すべきであるとの意見で一致いたしました。

このように、近年のエビデンスに加えて、挙児を強く希望する不妊症夫婦の診療に実際に関わっている臨床現場からの意見を踏まえ、反復不成功例と反復流死産例において患者背景を加味しないという現在の PGT-A の適応について再検討すべき時期にあると考えます。高齢の患者については、すべての ART 適応患者について、PGT-A を選択肢にできるようにすることで、先進医療などでの臨床研究を促進するなど、本邦における臨床実績を蓄積させることが望ましいと考えられます。「不妊症および不育症を対象とした 着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A) に関する細則」の当該部分の改訂についてご検討いただけますと幸いです。

敬具

#### 記

##### 参考文献

Kasaven LS, et al.: Systematic review and meta-analysis: does pre-implantation genetic testing for aneuploidy at the blastocyst stage improve live birth rate? J Assist Reprod Genet 2023; 40:2297—316. PMID:37479946

Harris BS, et al.: Success rates with preimplantation genetic testing for aneuploidy in good prognosis patients are dependent on age. Fertil Steril 2024 Sep 29;S0015-0282(24)02261-1. PMID:39349118

Rubio C, et al.: In vitro fertilization with preimplantation genetic diagnosis for aneuploidies in advanced maternal age: a randomized, controlled study. Fertil Steril 2017;107:1122—29. PMID:28433371

以上

Japan Society for Reproductive Medicine

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-17 アイオス永田町 503 号  
TEL:03-6205-7445 FAX:03-6205-7247 E-mail:info@jsrm.or.jp

---

Aios Nagatacho 503, 2-17-17 Nagatacho Chiyoda-ku, TOKYO 100-0014 JAPAN  
Phone +81-3-6205-7445 FAX +81-3-6205-7247 E-mail: info@jsrm.or.jp